

L^AT_EX で使える表現集

目次

1	テキストを枠で囲む表現	2
1.1	ascmac パッケージ使うやつ	2
1.2	fancybox パッケージ使うやつ	3
1.3	framed パッケージ使うやつ	4
1.4	tcolorbox パッケージ使うやつ (一番使える)	4
2	箇条書きを太字にする表現	6
2.1	itemize	6

1 テキストを枠で囲む表現

1.1 ascmac パッケージ使うやつ

もしかしたら `tcolorbox` 使うやつの方が完成度いいかも

1.1.1 itembox

```
\begin{itembox}[1]{\ovalbox{オイラーの公式}}  
\end{itembox}
```

(例)

オイラーの公式

オイラーの公式 ($e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$) は、とても不思議な式である。もともと、幾何学的な意味を持つ三角関数と、解析的な指数関数が、虚数を介して、とても単純な関係にあることを示している。

1.1.2 screen

```
\begin{screen}  
\end{screen}
```

(例)

オイラーの公式 ($e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$) は、とても不思議な式である。もともと、幾何学的な意味を持つ三角関数と、解析的な指数関数が、虚数を介して、とても単純な関係にあることを示している。

1.1.3 boxnote

```
\begin{boxnote}  
\end{boxnote}
```

(例)

オイラーの公式 ($e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$) は、とても不思議な式である。もともと、幾何学的な意味を持つ三角関数と、解析的な指数関数が、虚数を介して、とても単純な関係にあることを示している。

1.1.4 shadebox

```
\begin{shadebox}  
\end{shadebox}
```

(例)

オイラーの公式 ($e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$) は、とても不思議な式である。もともと、幾何学的な意味を持つ三角関数と、解析的な指数関数が、虚数を介して、とても単純な関係にあることを示している。

[目次に戻る](#)

1.2 fancybox パッケージ使うやつ

1.2.1 shadowbox

`\shadowbox{テキスト}`

(例) 長年、技術者として仕事をしています。オイラーの公式をよく見ます。大学一年生の時、
オイラーの公式 ($e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$) を見た時、とても驚きました。全く理解できなかった。というか想像すらできなかったことを鮮明に憶えています。

1.2.2 fbox

`\fbox{テキスト}`

(例) 長年、技術者として仕事をしています。オイラーの公式をよく見ます。大学一年生の時、
オイラーの公式 ($e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$) を見た時、とても驚きました。全く理解できなかった。というか想像すらできなかったことを鮮明に憶えています。

1.2.3 doublebox

`\doublebox{テキスト}`

(例) 長年、技術者として仕事をしています。オイラーの公式をよく見ます。大学一年生の時、
オイラーの公式 ($e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$) を見た時、とても驚きました。全く理解できなかった。というか想像すらできなかったことを鮮明に憶えています。

1.2.4 ovalbox

`\ovalbox{テキスト}`

(例) 長年、技術者として仕事をしています。オイラーの公式をよく見ます。大学一年生の時、
オイラーの公式 ($e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$) を見た時、とても驚きました。全く理解できなかった。というか想像すらできなかったことを鮮明に憶えています。

1.2.5 Ovalbox

`\Ovaltext{テキスト}`

(例) 長年、技術者として仕事をしています。オイラーの公式をよく見ます。大学一年生の時、

オイラーの公式 ($e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$) を見た時、とても驚きました。全く理解できなかった。というか想像すらできなかったことを鮮明に憶えています。

[目次に戻る](#)

1.3 framed パッケージ使うやつ

1.3.1 framed

```
\begin{framed}
```

テキスト

```
\end{framed}
```

(例)

オイラーの公式 ($e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$) は、とても不思議な式である。もともと、幾何学的な意味を持つ三角関数と、解析的な指数関数が、虚数を介して、とても単純な関係にあることを示している。

1.3.2 shaded

```
\definecolor{shadecolor}{gray}{0.80}
```

```
\begin{shaded}
```

テキスト

```
\end{shaded}
```

(例)

オイラーの公式 ($e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$) は、とても不思議な式である。もともと、幾何学的な意味を持つ三角関数と、解析的な指数関数が、虚数を介して、とても単純な関係にあることを示している。

[目次に戻る](#)

1.4 tcolorbox パッケージ使うやつ (一番使える)

これに関しては、[このサイト](#)を参照。

```
\usepackage{tcolorbox}
```

```
\tcbuselibrary{breakable, skins, theorems}
```

1.4.1 例 1

これが `tcolorbox` です.

```
\begin{tcolorbox}
  これが\textbf{tcolorbox}です.
\end{tcolorbox}
```

1.4.2 例 2

これは例だよ.

この記事は物工/計数 Advent Calendar 20 日目の記事です.

```
\begin{tcolorbox}[
  colframe = red,
  colback = yellow!20,
  title = これは例だよ. ,
  fonttitle = \bfseries,
  sharp corners = downhill,
  breakable = true]
  この記事は物工/計数 Advent Calendar 20 日目の記事です.
\end{tcolorbox}
```

`colframe` : 枠線の色を指定. `red` や `white` や `blue` などが使える.

`colback` : `tcolorbox` の背景の色を指定.

色 `X` に対して `X!30` で `X` 30% に対して白 (`white`) を残りの 70% 混ぜることを指す.

色 `X,Y` に対して `X!20!Y!30` で `X` を 20%, `Y` を 30%, 残りの 50% を白で混ぜることを指す, などの使い方も出来る 5.

`\definecolor` コマンドによって他形式で色を定義し, それを渡すという指定もできる. くわしくはこれなどを参照.

`title` : `tcolorbox` のタイトルを指定.

`fonttitle` : タイトルのフォント設定. `\bfseries` で太字になる. わいわい.

`sharp corners` : `box` の所定の角を尖らせる. ここでは `downhill`, すなわち左上と右下の角を尖らせるように設定している.

他にも `all`, `north` (右上と左上), `southeast` (右下のみ) などがある.

`breakable` : この画像からは読み取れないが, これを `true` にすることでページをまたぐことが出来るようになる.

ちなみにマニュアルによればこの `true` で 65536pt, 約 90 ページのサイズの `box` まで耐えるとのこと.

1.4.3 例 3

これはタイトル。長さが自動で調節される。

これは本文。

```
\begin{tcolorbox}[enhanced,
  colframe = green!35!black,
  colback = white,
  title = これはタイトル。長さが自動で調節される. ,
  fonttitle = \bfseries,
  breakable = true,
  coltitle = black,
  attach boxed title to top left = {xshift=5mm, yshift=-3mm},
  boxed title style = {colframe = green!35!black, colback = white},
  top = 4mm]
  これは本文.
\end{tcolorbox}
```

enhanced : TikZ&LaTeX の内部処理を導入する。ある程度複雑なものには必須。ただしコンパイル時間が長くなる元凶にもなる。

coltitle : タイトルの文字の色を変更する。デフォルトでは white。

attach boxed title to top left : タイトルを box のどこに付けるかを指定していて, attach boxed title to bottom など可能。波括弧 {} 内で位置を微調整している。(

軸と

軸の向きは常識的な向きです)

boxed title style : タイトルもまた 1 つの box とみなし, colframe や colback 等の指定が出来るようになる。

top : box 全体で, 文章の 1 行目と上の枠線の幅を指定する。タイトルを入れると間が詰まって見えてしまうため広げた。

[目次に戻る](#)

2 箇条書きを太字にする表現

2.1 itemize

```
\begin{itemize}
\item[\textbf{東泊}] 回路の仕様の設定, コードのデバッグ
```

```
\item [\textbf{川嶋}] コーディング  
\end{itemize}
```

東泊

回路の仕様の設定，コードのデバッグ

川嶋

コーディング

[目次に戻る](#)